

書名 地方教育行政法の改定と教育ガバナンス
著者 坪井由実・渡部昭男編 日本教育行政学会研究推進委員会企画
ISBN 9784903520940
出版年月日 2015年5月15日
本体価格 本体2,300円＋税
出版社 三学出版

目次

まえがき(渡部昭男)

第1部 地方教育行政の改定—教育委員会制度をどう改めるか

- 第1章 教育委員会改革の制度設計をめぐる経緯と論点(村上祐介)
- 第2章 教育委員会制度の意義と必要性(高橋寛人)
- 第3章 統治機構再編成としての地方教育行政制度改革(中嶋哲彦)
- 第4章 教員のインフォーマルな人的ネットワークと教育行政制度(佐々木幸寿)
- 第5章 学校と教育委員会が双方向で学び合う(坪井由実)
- コラム1:求められる教育行政と他領域との連携と協働(安宅仁人)

第2部 地方教育行政法の改定と教育ガバナンス(I)

—学校教育における共同統治を中心に

- 第6章 京都番組小学校にみる町衆の自治と教育参加(和崎光太郎)
- 第7章 2014年地教行法改正と「新」教育委員会をめぐる課題(小川正人)
- 第8章 教員人事行政と学校・自治体の教育行政ガバナンス(川上泰彦)
- コラム2:地教行法等の改定と教育ガバナンス(大野裕己)
- コラム3:通知に示された立法者意思(渡辺恵子)

第3部 地方教育行政法の改定と教育ガバナンス(II)

- 第9章 教育委員会制度改革と社会教育
- 第10章 「公共主体の多様化」時代における住民主体形成システム(石井山竜平)
- コラム4:地域づくりと教育(安藤知子)
- コラム5:教育委員会制度改革と教育行政学の課題(山下晃一)

総括 教育委員会制度のあり方と「共同統治」(渡部昭男)

あとがき(坪井由実)